

首都ウランバートルから、故郷チャンドマニ村へ —
二人のホーミー唱者が辿る共鳴の旅

第一回モンゴル映画を楽しむ会（マンダフ～ナランの会主催）

山口情報芸術センター・スタジオC上映会

チャンドマニ

～モンゴルホーミーの源流へ～

監督・脚本・編集・制作：亀井 岳

撮影：古木洋平

出演：ダワースレン、ザヤー、
ダワージャブ、センゲドルジほか

2009年 / 日本・モンゴル / DV 96分 / カラー / モンゴル語

後援：駐日モンゴル国大使館


在モンゴル日本国大使館

社団法人日本モンゴル協会

協力：財団法人横浜市芸術文化振興財団

配給：FLYING IMAGE

宣伝：チャンドマニ上映実行委員会

協賛："NEW PROGRESS GROUP" Co.,LTD 

www.chandmani.com

厳しい自然と共に生きる人々が、
素晴らしい文化を育ててきたことの一端が見えます。
軽薄で便利な見せ掛けの豊かさの対極とは？
風景が音楽を生み、人間の質が音楽の質を決める。
さてその実態は……………。——坂田明（ミュージシャン）

凍てついた大地に染みるホーミーや唄の響き。遊牧の民を暖める一服のお茶。
芯に染みる暖かさを想いました。
かの地に適う音楽とは何であるかを、少し識ったような気がします。
——こだま和文（DUBSTATION）

大草原に流れる二つの時間の中に、一人の人間が同時に響かせる声。
——嵯峨治彦（ホーミー／馬頭琴奏者・民族音楽ユニット「タルバガン」）

街に出ることによって異なる生活習慣と出会い、
自分の生活の舞台を見つめなおす。

そして、故郷に帰る選択を行う。

淡い希望と、漠とした不安が入り混じったほろ苦い感情。

生涯の激動期を、静かに見つめる、製作者の暖かい視線を感じました。

この映画で彼らとともにチャンドマニ村に帰っていく経験を通じて、

我々の生活自身が問われているような映画です。

ホーミー・ファンにとっては、本場モンゴル西部の著名なベテラン演奏家が

何人も出演しているところも見所となるでしょう。

——等々力政彦（フーメイ／ドシブル奏者・民族音楽ユニット「タルバガン」）

人の暮らしの中で、宗教以前のレベルで先祖から受け継がれてきた唄や音楽が、今もモンゴルの一部では途絶えずに残っている理由を思い知らされた。子にクラシック音楽を習わせるのとは別次元の音楽的な豊かさ（＝遊牧部族という生）が、国民唱歌風音楽との対比の内に、見事に浮き上がる。

——モブ・ノリオ（作家）



都市と草原、生きる人それぞれの響きがある。
旅の向こうに、聴こえてくるのは——

首都ウランバートルから西へ約1500km離れたチャンドマニ村。そこに暮らしていた青年ザヤーは、お金にならない遊牧生活から離れ、首都ウランバートルへ仕事を求めに来ていた。一方、ウランバートルの劇場でホーミー唄者として活躍するタワースレンは、妻子と共に充実した生活を送っていた。生活も立場も違うこの二人が、偶然に乗り合わせたホブド行きの長距離バス。向かうのはチャンドマニ村、ホーミーの源流へ——

監督・脚本・編集・制作＝亀井 岳
撮影＝古木洋平

2009年／日本・モンゴル／DV／96分／カラー／モンゴル語
配給：FLYING IMAGE
宣伝：チャンドマニ上映実行委員会

チャンドマニ公式HP▶<http://www.chandmani.com>

第一回モンゴル映画を楽しむ会（マンダフ〜ナランの会主催）

山口情報芸術センター・スタジオC

11月3日（祝）14:00開場 14:30開演

料金／一般・学生：980円 会員：800円

上映終了後 亀井監督トークショー

主催：マンダフ〜ナランの会 後援：山口県国際交流協会

お問い合わせ：マンダフ〜ナランの会事務局 ☎ 090 9468 8840（砂村）



山口市中園町 7-7 <http://www.ycam.jp/>